

平成30年度 全体研修会

研究推進計画について

視覚障害のある幼児児童生徒の主体的な学びを目指して
～「学びの変革」アクション・プランを基盤にした
授業づくり及び生活指導の在り方～

平成30年4月13日(金) 研究部

これからの複雑な社会を生き抜く力

目指す幼児児童生徒像

「強く 正しく 明るく」の校訓のもと、自らの生き方を考え、その目標に向かって、ねばり強く努力する人間を育成する。

視覚障害のある幼児児童生徒の主体的な学びを目指して
～「学びの変革」アクション・プランを基盤にした授業づくり及び生活指導の在り方～

課題発見・解決学習

これからの複雑な社会を生き抜く力

目指す幼児児童生徒像

「強く 正しく 明るく」の校訓のもと、自らの生き方を考え、その目標に向かって、ねばり強く努力する人間を育成する。

視覚障害のある幼児児童生徒の主体的な学びを目指して
～「学びの変革」アクション・プランを基盤にした授業づくり及び生活指導の在り方～

資質・能力

課題発見・解決学習

これからの複雑な社会を生き抜く力

目指す幼児児童生徒像

「強く 正しく 明るく」の校訓のもと、自らの生き方を考え、その目標に向かって、ねばり強く努力する人間を育成する。

視覚障害のある幼児児童生徒の主体的な学びを目指して
～「学びの変革」アクション・プランを基盤にした授業づくり及び生活指導の在り方～

資質・能力

課題発見・解決学習

視覚障害教育の土台

- 核になる体験的な学習の充実
「学習の基本となる体験」「経験を補完する体験」
- 言語理解と言語活動の充実
「視覚に頼らない方法で真に理解している言語を増やす」

これからの複雑な社会を生き抜く力

目指す幼児児童生徒像

「強く 正しく 明るく」の校訓のもと、自らの生き方を考え、その目標に向かって、ねばり強く努力する人間を育成する。

視覚障害のある幼児児童生徒の主体的な学びを目指して
～「学びの変革」アクション・プランを基盤にした授業づくり及び生活指導の在り方～

資質・能力

課題発見・解決学習

視覚障害教育の土台

- 核になる体験的な学習の充実
「学習の基本となる体験」「経験を補完する体験」
- 言語理解と言語活動の充実
「視覚に頼らない方法で真に理解している言語を増やす」

本校で育てたい資質・能力

スキル

思考力・判断力・表現力

コミュニケーション能力

課題発見・解決力

意欲・態度

見る意欲・触る意欲

主体性・積極性

価値観・倫理観

自己理解・自己肯定感

平成29年度の研究成果



昨年度, みなさんが実施した主体的な学びにつながる取組を説明しましょう。

ルーブリック

第1段階

第2段階

第3段階

第4段階

主体的な学びになった取組について説明ができない。

主体的な学びになった取組を説明している。

主体的な学びになった取組について説明し、その後その取組を、どのように生かしたかということや、成果と考える出来事についても説明している。

主体的な学びになった取組について説明し、その後その取組を、どのように生かしたかということや、成果と考える出来事についても説明し、さらに今後どのように取組を進めようとしているか説明している。

今年度の研究内容

創造

(1) 主体的な学びを創造するための ICEモデルでの単元(題材)整理

I 考え・基礎知識

(Ideas)

- 視覚障害での実態(体験, 視経験をしている。)(見方, 触り方が定着している。)
- 既習事項を理解している。

視覚障害教育における土台の充実

C つながり

(Connections)

- 知識や経験とそれぞれを関連付けている。
- 身に付けた技能, 方法を活用する。
- ステップアップさせた課題に取り組んでいる。

E 応用・広がり

(Extensions)

- 単元(題材)での最終の望ましい姿
- 身に付けたことを活用して発信したり, 新しいことに挑戦したりしている姿

(2) 資質・能力を育成するための 授業の創造

- ルーブリック: 本時で育てる資質・能力の達成水準として
具体的な学習者の姿で示したもの

資質・ 能力	1段階	2段階	3段階	4段階
(例) 思考力・ 判断力・ 表現力	幼児児童生徒の授業の中 での姿を具体化する。			
	支援の必 要な姿	必ず達成したい姿		発展的な 姿

(2) 資質・能力を育成するための 授業の創造

- ・ルーブリック: 本時で育てる資質・能力の達成水準として
具体的な学習者の姿で示したもの

資質・ 能力	1段階	2段階	3段階	4段階
(例) 思考力・ 判断力・ 表現力	幼児児童生徒の授業の中 での姿を具体化する。			
適切な支 援を学習 指導案に 明記する。	支援の必 要な姿	必ず達成したい姿		発展的な 姿

(3) 教科横断的なカリキュラムの創造



つながり

主体的で
深い学び

学び手の考えを
中心にした
1時間の授業・指導

教科の本質を踏まえ、課題発
見・解決学習のある単元(題材、
指導)づくり
(パフォーマンス課題)

視覚障害教育の基礎を補完する。
実態把握する。

主体的で
深い学び

学び手の考えを
中心にした
1時間の授業・指導

教科の本質を踏まえ、課題発
見・解決学習のある単元(題材、
指導)づくり
(パフォーマンス課題)

視覚障害教育の基礎を補完する。
実態把握する。

幼児児童生徒
をよく観察する。
(これまで何が
できているか、
分かっている
か。)

主体的で
深い学び

学び手の考えを
中心にした

1時間の授業・指導

教科の本質を踏まえ、課題発
見・解決学習のある単元(題材、
指導)づくり

(パフォーマンス課題)

視覚障害教育の基礎を補完する。

実態把握する。

幼児児童生徒の
つぶやきを拾う。
(今、何を考えて
いるか、やろうとし
ているか。)

幼児児童生徒
をよく観察する。
(これまで何が
できているか、
分かっている
か。)

今年度の研究体制

各部研究グループ

小学部単一障害教育
幼稚部・小学部重複障害教育
中学部
高等部普通科
高等部理療科
寄宿舎教育



教科教育研究グループ (幼小中普理)

国語 社会 算数・数学 理科 音楽 図画工作・美術
保健体育 技術・家庭 英語 理療① 理療②

個人授業研究
校内研究授業
公開授業研究

こんな姿を目指します

難しいことに挑戦して、失敗もして、くじけそうになっただけどやったらできたから、また、やってみよう。

授業や生活の中で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしたよ！



○試行錯誤を用意する。

○失敗も用意し，必ずその先に成功を用意する。



その過程を評価する。
ほめることで終わる。

こんな姿を目指します

人の話や意見を最後までじっくり聞いて理解しようと思えるようになりました。

言いたいことがあったから、相手に分かってもらえるように伝えました。

話し合うとき、相手の考えも分かろうとしたし、自分の考えも伝えることができるようになりました。



○学校の先生，友だち，地域の方，外部講師，知らない人など，相手と話す場を用意する。

○相手を受け入れる気持ちを育てる。

広島県立広島中央特別支援学校

目指す幼児児童生徒像

「強く 正しく 明るく」の校訓のもと、
自らの生き方を考え、その目標に向かって、
ねばり強く努力する人間を育成する。

視覚障害のある幼児児童生徒の
主体的な学びを目指して

～「学びの変革」アクション・プランを基盤にした
授業づくり及び生活指導の在り方～